

# 追浜あんず通信

Oppama Anzu Press

第28号 2025年10月 発行:特定非営利活動法人 アクションおっぱま

## 2025年度通常総会報告

2025年度通常総会は、6月9日(月)午後3時～4時、追浜コミュニティセンター第二学習室で開催されました。2025年4月1日現在の正会員数30(うち個人23、団体7)ですので、過半数は16です。当日の出席は24(内 書面評決者7、委任状9)で過半数を越え、総会は成立しました。

第1号議案 2024年度活動報告書、第2号議案 2024年度活動計算書、第3号議案監査報告、第4号議案 2025年度活動計画書、第5号議案 2025年度活動計算書について提案並びに審議の結

果、すべての議案は承認されました。終了後は駅前の「磯丸水産」に移り、懇親会で交流を深めることができました。

総会の成立にご協力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。今後は、皆さまにご賛成いただいた2025年度の事業を進めてまいります。2024年度活動報告書、2024年度活動計算書、2025年度活動計画概要等はアクションおっぱまのホームページでご覧いただけます。

## アクションおっぱま 事務所移転について

アクションおっぱまの事務所は設立以来、追浜町2丁目13番地「こみゅに亭カフェ」の所在地にありましたが、2023年12月カフェの閉店以降移転先を探していました。また、2019年から関東学院大学空き家活用事業の一環である「守谷ノ間」(鷹取町1丁目9番19号)の一角をお借りし、「こみゅに亭カフェ」と2拠点で活動していましたが、2024年3月「守谷ノ間」が閉所したため、全く拠点が無いという状況になりました。

2025年2月ようやく、通称「レトロ鷹取」(鷹取町1丁目19番18号)に法人住所を移転することができました。この間「こみゅに亭カフェ」及び「守谷ノ間」の所有者の方には、ご厚意により転出をお待ちいただいております。「レトロ鷹取」は手狭なので、どうぞお立ち寄りくださいとは言いがたいのですが、まずは無事移転できたことをご報告いたします。

(NPO法人アクションおっぱま理事長 昌子住江)

## アクションおっぱま2025年度総会に参加して

「原稿依頼」を受け15年前に国土交通省の東京湾第三海堡遺構の追浜への保存に付き昌子理事長さんから相談があり、私も旧運輸省港湾局時代に関連している上に尊敬する理事長さんの協力は惜しまず、こちらも私が尊敬している元御巫港湾局長にも紹介いたしました事を改めて思い出しました。

本会のお陰様で第三海堡の遺構も保存と展示・紹介が立派に続けられている現状に感謝すると同時にその意気込みには頭が下がりっぱなしです。昨年は「戦争遺産」についての全国的なシンポジウムも引き受けられ大変な成果も得

られました。今年は総会にも久しぶりに参加させて頂き理事長さんを中心に素晴らしいスタッフと共に活動を続けられている事に感激いたしております。

最近の私は先日横浜で行われたTICAD-9の3人の表彰者にも会え野口英世に関する旧細菌検査室の案内に一市民として参加でき説明もさせて頂きました。80年間兎にも角にも日本は戦争がなく平和の大切さを感じる今日この頃です。当会のご発展を祈っています。

(NPO法人アクションおっぱま会員 蓮見 隆)

## 貝山地下壕の現状と今後・写真

関東学院大学黒田先生チームは、貝山地下壕の空間構成の明確化を目的にして、3次元スキャンニング(3Dスキャン)による立体的表現を用いた撮影を行いました。実際には、昨年2月8日・9日にB壕東側(一般公開エリア)を対象にして1次調査撮影を行い、更に、今年5月10日・24日・25日にB壕西側(未公開エリア)を対象にして2次調査撮影(計5日間)を行い、調査を完了しました。1次調査結果は、昨年12月に行われた旧軍港四市鎮守府日本遺産シンポジウム in 舞鶴で研究発表されました。

これらの3次元画像を用いて、今までの2次元画像では得られなかった事象を明確化して活用したい。実際の観測では、内部にある物体を上下左右前後の3方向から見る事が出来て、寸法精度も小さいものを約1センチメートル単位の大きさを測ることが出来ます。今後は、保存状態を精査することで防災対策に役立つことと、見える化を進めて「戦跡保存のまちづくり」に繋げて行

きたいと思っています。

図1は3Dスキャンを行っているところです。図2と3はB壕の一般公開エリアのふかん図(上から見た図)を示します。図4はB壕通路2より、室1と通路3一部の3Dスキャン平面図及び、図5は同じ通路2と室1の3Dスキャン断面図を示します。(NPO法人アクションおっぱま副理事長 宮崎恵之助)



図1:観測用3Dスキャンを用いて、定点用球体との位置を測定中



図2:従来からのB壕一般公開エリアの2次元地図

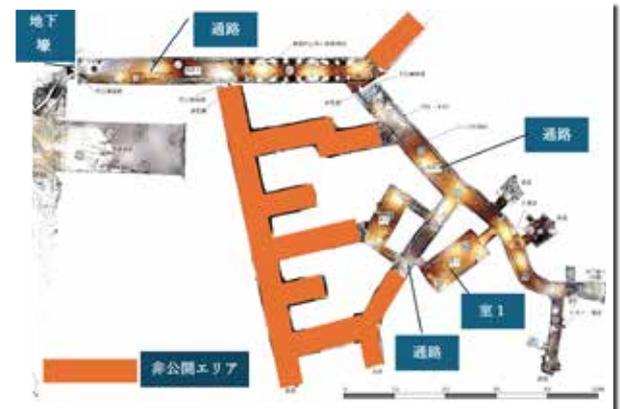


図3:今回のB壕一般公開エリアの3次元ふかん図

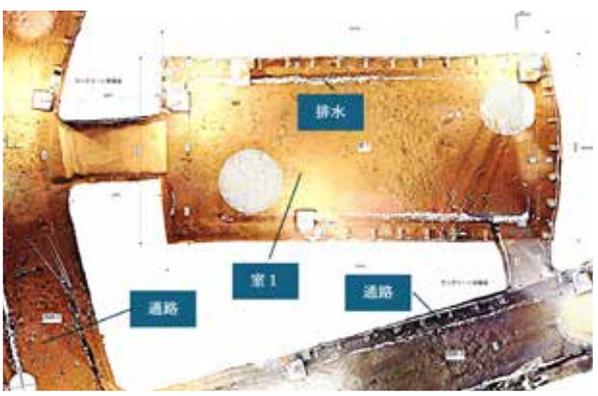


図4:B壕通路2より、室1と通路3一部の3Dスキャン平面図(上から見た)

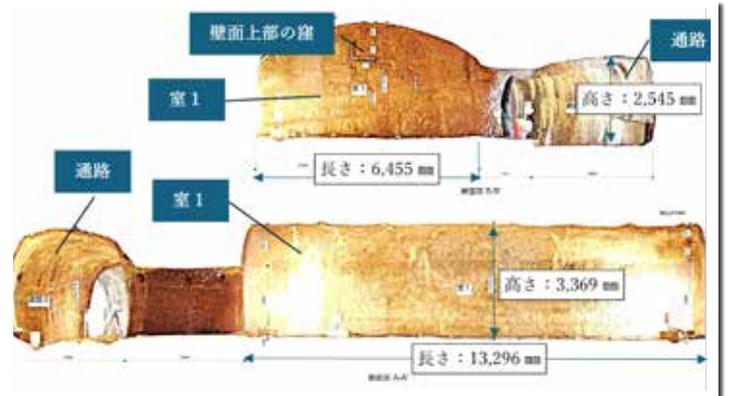


図5:B壕通路2と室1の3Dスキャン断面図(横から見た)

## 金沢区シニアクラブ連合会 歩こう会第三海堡を見学

天候が心配だった5月16日(金)、金沢八景から徒歩で73名の方々が第三海堡へ見学に来場され、当日はガイドの説明は不要という事で会場にはアクションおっぱまのガイド担当者が見守る中、グループごとに見学されました。平均年齢は高いとは言え皆さんお元気で、質問をし、写真撮影等楽しんだ後、昼食の貝山緑地展望台へと移動されました。皆さん無事に帰宅されたとのことでした。



## 海森プロジェクト・よこすか海の市民会議の活動

7月12日(土)、アイクル脇の浅場で横須賀市都市戦略課主催とよこすか海の市民会議協力で鎌倉、逗子、葉山、横須賀、四市一町合同によるコアモ移植体験が行われました。公募した子供たち40名弱と家族、関係者を含め総勢約100名の参加で曇天ではありましたが、参加者親子にとっては貴重な体験でした。

アイクル脇の浅場は数年前、横須賀海軍基地一部増設時に出た残土、砂を利用し、小さな海岸を作り市民のレクリエーションの場にする計画がありました。

しかし頓挫の後、よこすか海の市民会議(代表川口将人)が活動の一部として利用することになり、東京湾の片隅で海的环境保全活動をしていま

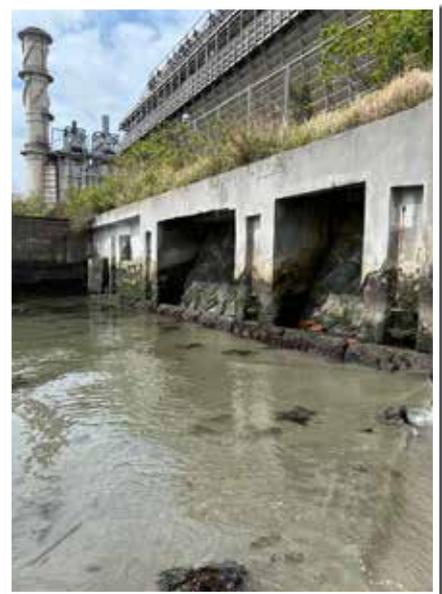
す。幾度かアマモ、コアモを移植し、成長のモニタリングを地元企業(株)マリンワークジャパンと共にボランティア活動を続けています。

今回の市開催のコアマモ移植イベントは昨年に続き2回目となり、リピーターの参加もありました。アマモ、コアモの森は魚たちの寝床、新しい命を育てその命をつないでいます。“海に森を作ろう”をスローガンに地道な活動を続けている海の市民会議をアクションおっぱまは支援しています。

※アイクル浅場は歴史遺産・旧予科練跡に隣接しています。



アイクル脇浅場



歴史遺産・旧予科練跡

## 🍊 暑さに負けず

今年の夏も連日熱中アラートが発令される毎日！ おっぱま祭りが開催された7月13日も32℃の炎暑でしたが、追浜銀座通りには大勢の見物客が溢れました。参加チームは例年1番人気のリオのカーニバルをはじめ阿波踊り、地元の子供たちのおっぱまソーラン等が車の通行止めの通りに次々と披露。しかし、神輿の行列で盛り上がる中救急車が4度到着、関係者の方々は休む



## おっぱま祭り開催

時間なく働いていました。訪れた人は3万人を超えて今年もエキサイティングなお祭りでした。



## 🍊 追浜観光協会主催「追浜大人の社会科見学ツアー」

8月25日午後一時から、地元追浜観光協会主催、大人の休日追浜巡りツアー 17名が三海堡、貝山地下壕を訪れました。当日のお天気は熱中アラート発生 of 厳しい日でしたが、初めての来場者が多くガイドの説明に集中。しかし予定時間に制限があり、油槽庫は省略しました。

複数の再開発計画がある追浜の歴史に興味を持ち、保存紹介をしている活動への理解を深めて欲しいものでも同時にこの様な地元の方々に現地見学への呼びかけを今後も継続していただきたいです。

## 🍊 出版物紹介

日頃からアクションおっぱまの活動に理解と協力を頂いている、元アィクル館長だったデビット佐藤さんが東京湾要塞研究家として、タウンニュースに連載中の記事が80回を迎え、また今年の戦後80年を記念して 遺跡が伝える戦争の記録「東京湾要塞地帯に行く！」を出版。前頁160ページフルカラー、主に写真とわかりやすい解説文で貴重な保存版となるでしょう。巻末に当法人の昌子理事長との対談が掲載されています。

### 通信販売

購入をご希望の方は、郵送先の住所、氏名、連絡先、購入冊数を明記の上、下記までメールでお申し込みください。

振込先を返信いたします。

tkyosai830@tf6.so-net.ne.jp

定価3,000円(税込)に郵送料(220円)と振込手数料をご負担いただきます。なお、郵送料は1冊分の費用ですので、複数冊数では変わります。具体的な金額については返信メールでお伝えします。

### 第27号の記事訂正について

2024年11月発行のあんず通信第27号に誤りがありましたので訂正お願い致します。  
表紙1ページ 新理事紹介 小室卓恵を小室卓重へ訂正 ご本人へお詫びいたします。



### お知らせ

#### ワイ!フェスタおっぱま

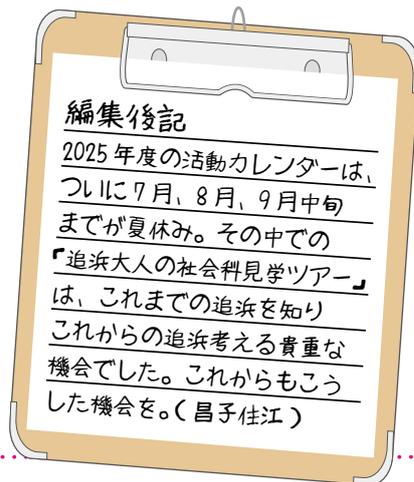
10月26日(日)夏島グランドにて10:00開始

#### アィクルフェア

11月16日(日)アィクルにて10:00開始

追浜あんず通信28号 2025年10月発行

発行 特定非営利活動法人アクションおっぱま  
発行人 昌子住江  
編集 NPO法人アクションおっぱま編集委員会



#### 編集後記

2025年度の活動カレンダーは、ついに7月、8月、9月中旬までが夏休み。その中の「追浜大人の社会科見学ツアー」は、これまでの追浜を知り、これからの追浜を考える貴重な機会でした。これからもこうした機会を。(昌子住江)